

case

栄養士

県南保健福祉事務所
健康福祉部 健康増進課

(平成29年度採用)

わたしを表すキーワード

5

keyword 01

#食堂かたつむり

私が栄養士を目指すきっかけとなった作品で映画化もされています。食の当たり前とその大切さを感じられるので、初心に戻れる存在です。

keyword 02

#協調性

円滑に業務を進めるため、自身の専門性や視点を大事にしつつ、様々な職種の方々と協力しながら、よりよい事業の実施に努めています。

keyword 03

keyword 04

#新幹線通勤 #華金

keyword 05

#スポーツ観戦



略歴

H2 9～R2 福島県立会津学鳳中学校

R3 ～現在 県南保健福祉事務所 健康福祉部 健康増進課

誰もが自然に健康になれる福島に！

栄養業務を担っている市町村職員や栄養管理業務を行っている特定給食施設等へ支援の実施や講習会の開催、県民がよりよい健康維持増進に繋がるような普及啓発や食環境整備事業、食育事業を行っています。「勉強になった」や「役立てたい」との声をいただいた時は、管理栄養士の専門性を活かすことができた実感でき、やりがいを感じます。

県職員を目指した理由

父の実家が郡山で、幼い頃は祖母に会いに行っていました。そんな思い出のある福島県で、行政栄養士として、一人でも多くの人に食の大切さを伝えたいという思いがあり、志望しました。



↑研修会での発表

とある一日のスケジュール

8:30	始業	13:00	特定給食施設等講習会の準備
8:45	メール確認 問い合わせ対応 例) 栄養士・管理栄養士免許、 食生活改善推進員の支援、 うつくしま健康応援店、 栄養成分表示 等	13:30	特定給食施設等講習会の開催
12:00	昼休み (ハロウィン、クリスマスなどの日は、お弁当を頼んで行事食を楽しんでいます！)	15:00	片付け
		15:30	講習会の報告書作成 事業に関する書類作成 明日の巡回指導の準備
		17:15	終業

印象に残っている経験・エピソード

6月の食育月間に向けた普及活動において、見やすさや分かりやすさを心がけた啓発チラシを作成するため、所内の他職種の職員から助言をいただきながら実施しました。その際、食生活改善推進員や住民の皆さんから「役立った」や「見直す機会となった」との声をいただきました。専門性を活かすことができ、協調性の大切さを実感した出来事でした。



↑啓発活動を実施

福島県職員として、実現したいこと・目標としていること



東日本大震災や新型コロナウイルス感染拡大を機に、食事や生活習慣、人との交流に大きな変化が起きました。そうした中で、「食や健康に関心のある層とそうではない層との健康格差」や「実体験できる普及啓発の難しさ」など様々な課題に気付きました。市町村や食に関わる地域団体、特定給食施設等と連携を図り、ただ住んでいるだけで健康になれる福島・地域づくりを目標としています。

(令和5年3月現在)